



2025年度 第3四半期決算報告

2026年2月3日

日清食品ホールディングス株式会社
(証券コード：2897)

決算説明会開催日：2026年2月3日

■ 本日のポイント

Point 1 第3四半期単体 : 3事業全てで増収、連結利益も海外事業が牽引し全体で増益

Point 2 第3四半期累計 : 連結全体で増収に転換、減益幅縮小

Point 3 通期見通し : 売上収益・既存事業コア営業利益とも通期修正予想インラインでの着地見込

国内即席めん事業

- ・ 日清食品は価格コンシャス品が堅調に推移し、増収継続
- ・ 資材高騰等を主因に第3四半期単体では減益となったが、修正予想インライン
- ・ 明星食品は主要ブランド好調、販売数量も前年比一桁後半%の伸長、増収・増益基調継続

国内非即席めん事業

- ・ 低温・飲料事業、菓子事業とも増収基調継続
- ・ 資材高騰や減価償却費の増加等により、全体では第3四半期累計・単体ともに減益

海外事業

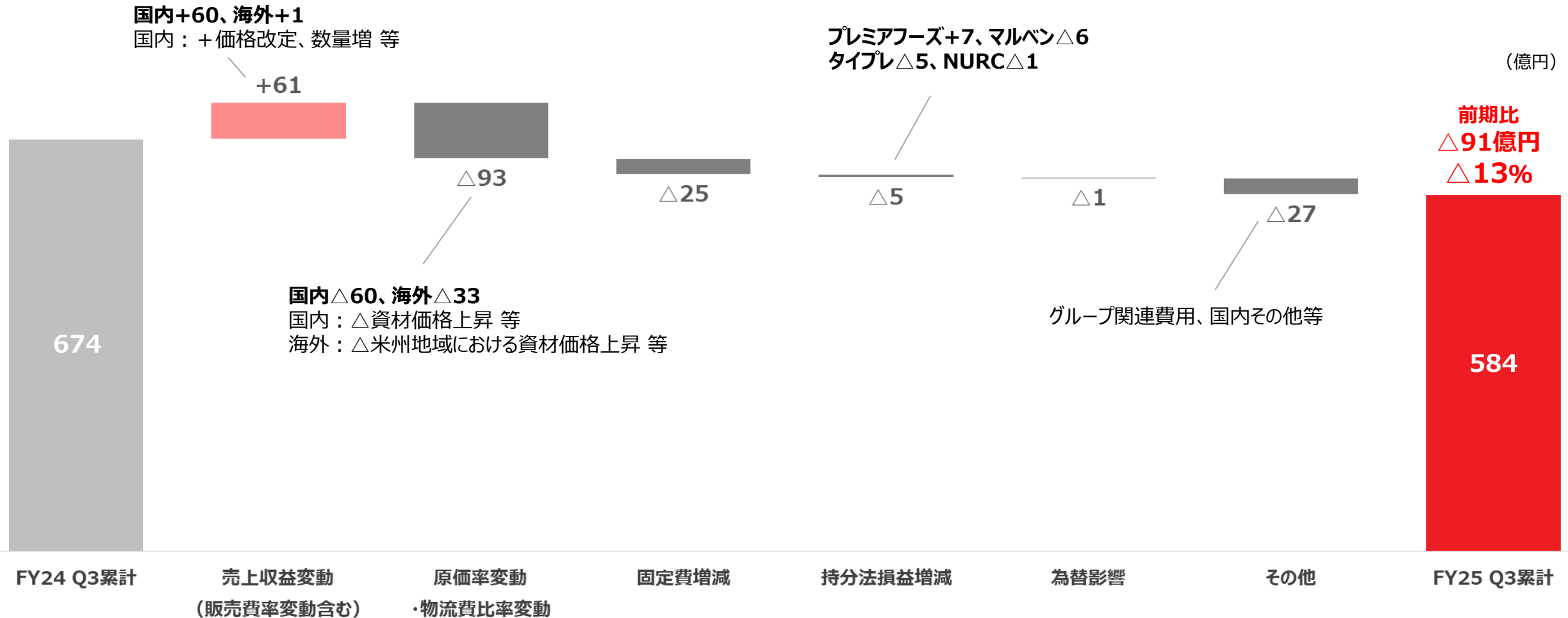
- ・ 米国は一部チャネルでの販売数量減が一巡、地域拡大もあり、足許数量増加
- ・ 第3四半期単体では、増収・増益に転じた米国、好調を維持するブラジル・中国地域、欧州持分法適用会社の貢献等により、海外事業全体で増収・増益での着地

2025年度 Q3 実績

2025年度 Q3連結決算サマリー

単位：億円	2025年度 Q3累計 決算開示ベース			2025年度 Q3累計 為替一定ベース		
	実績	前期比		実績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
売上収益	5,866	+ 43	+ 0.7%	5,903	+ 80	+ 1.4%
既存事業コア営業利益	584	△ 91	△ 13.4%	585	△ 89	△ 13.3%
営業利益	534	△ 71	△ 11.7%	535	△ 70	△ 11.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	390	△ 45	△ 10.4%	391	△ 45	△ 10.3%
既存事業コア営業利益率	10.0%	△ 1.6pt		9.9%	△ 1.7pt	
営業利益率	9.1%	△ 1.3pt		9.1%	△ 1.3pt	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益率	6.7%	△ 0.8pt		6.6%	△ 0.9pt	

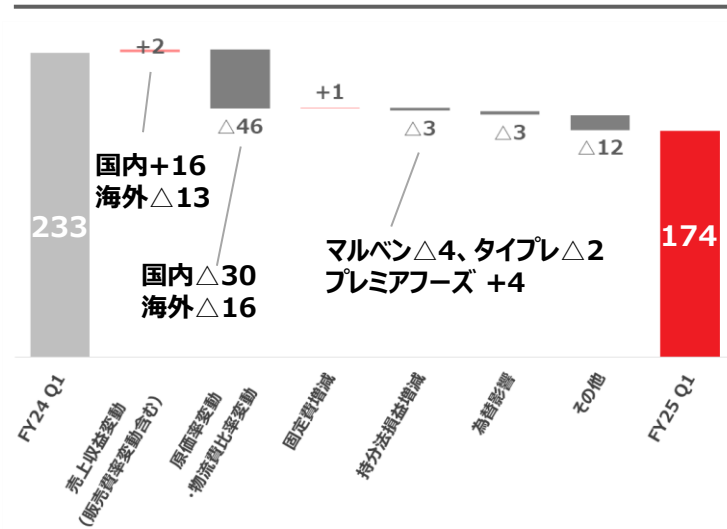
既存事業コア営業利益の増減要因



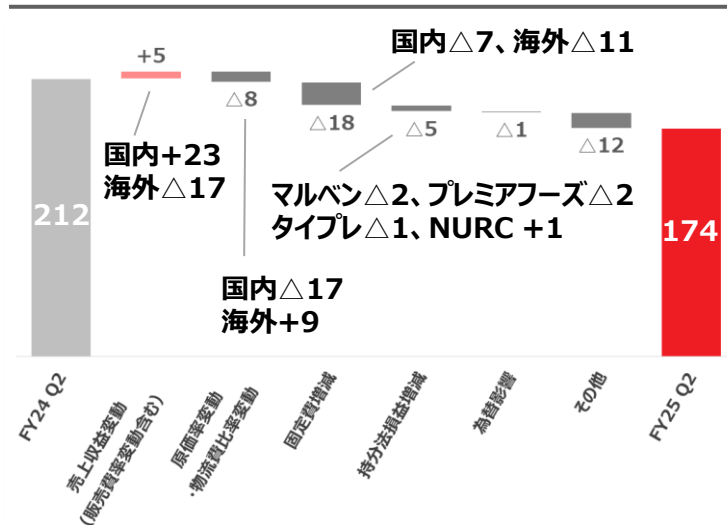
- * 細目は前期為替一定ベース
- * 国内その他セグメント、その他連結調整及びグループ関連費用のコア営業利益増減は「その他」に含めて表示
- * 2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正
- * 売上収益変動は、販売費率変動を含む総売上高に対する率分析のため、売上収益増減の実額とは異なることがあります

既存事業コア営業利益の増減要因～四半期毎

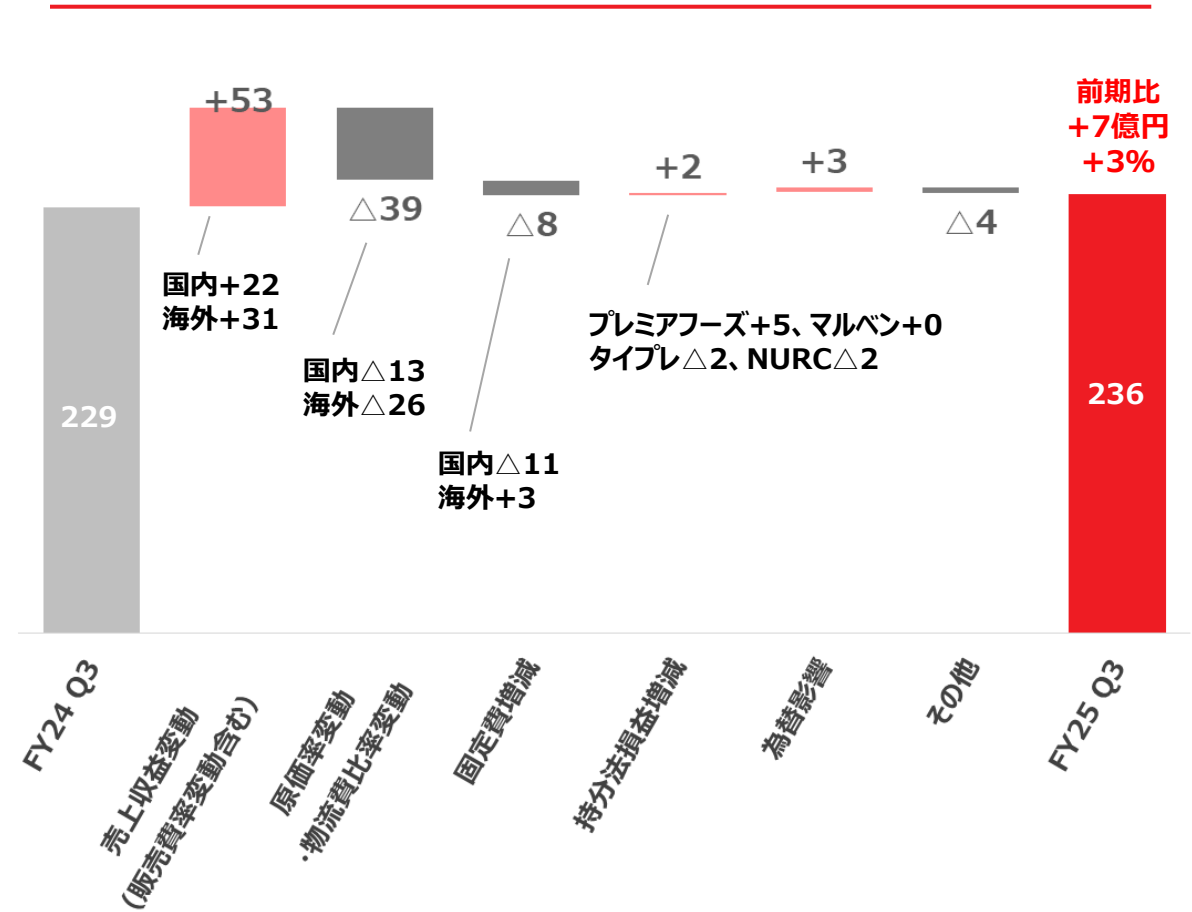
Q1



Q2



Q3



- * 細目は前期為替一定ベース
- * 国内その他セグメント、その他連結調整及びグループ関連費用のコア営業利益増減は「その他」に含めて表示
- * 2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正
- * 売上収益変動は、販売費率変動を含む総売上高に対する率分析のため、売上収益増減の実額とは異なることがあります

セグメント別 決算サマリー

- ・ 売上収益は、国内事業が堅調に推移した一方、海外事業は減収
- ・ コア営業利益は、資材高騰や為替影響をカバーできず、3事業とも減益

国内即席めん事業

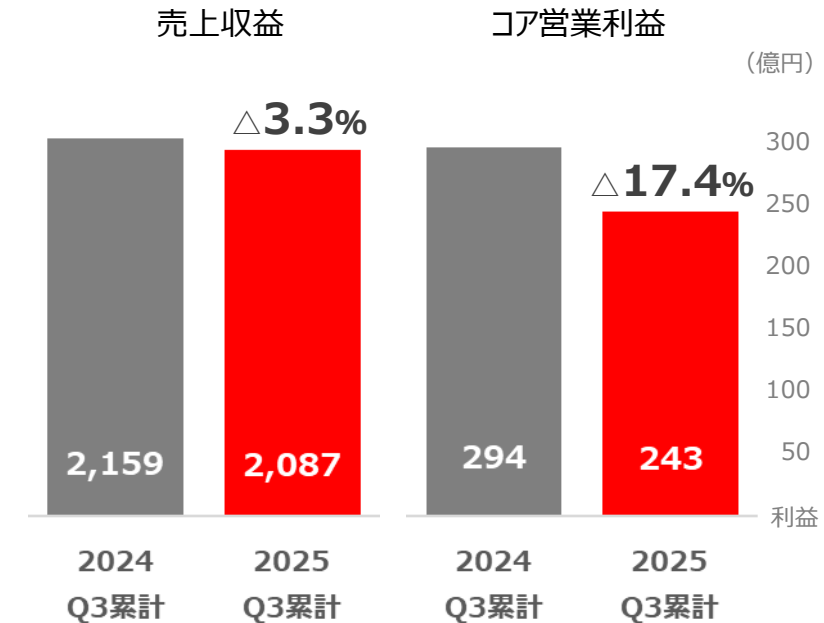
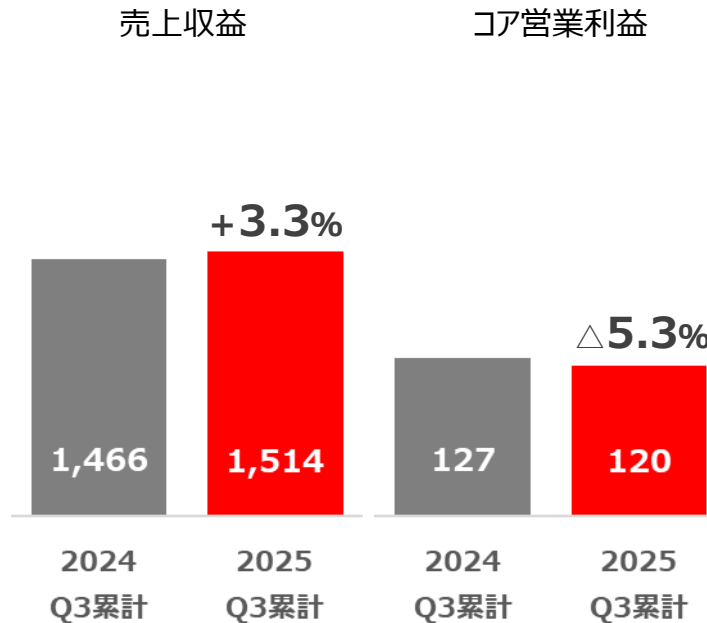
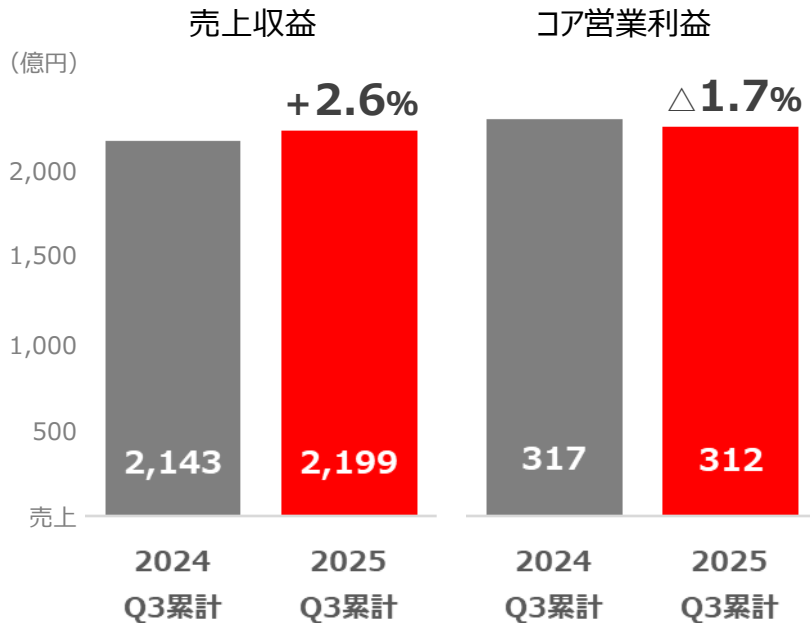
日清食品は価格コンシャス品中心に堅調。
明星食品も主要ブランド好調により増収。
コスト増をカバーできず減益

国内非即席めん事業

価格改定効果もあり、増収継続。資材
高騰や減価償却費の増加等により、
減益

海外事業

米州およびアジア地域で減収。
主に米国事業の数量減、各地域での資材コ
ストの増加などにより減益



セグメント別 売上収益実績

単位：億円	2025年度 Q3累計 決算開示ベース			2025年度 Q3累計 為替一定ベース		
	業績	前期比		業績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	1,836	+ 35	+ 1.9%	1,836	+ 35	+ 1.9%
明星食品	363	+ 22	+ 6.3%	363	+ 22	+ 6.3%
国内即席めん事業	2,199	+ 57	+ 2.6%	2,199	+ 57	+ 2.6%
低温・飲料事業	792	+ 25	+ 3.2%	792	+ 25	+ 3.2%
菓子事業	721	+ 23	+ 3.4%	721	+ 23	+ 3.4%
国内非即席めん事業	1,514	+ 48	+ 3.3%	1,514	+ 48	+ 3.3%
国内その他	66	+ 10	+ 18.6%	66	+ 10	+ 18.6%
国内事業 計	3,779	+ 115	+ 3.1%	3,779	+ 115	+ 3.1%
米州地域	1,190	△ 66	△ 5.2%	1,220	△ 36	△ 2.9%
中国地域	535	+ 0	+ 0.0%	549	+ 14	+ 2.7%
アジア地域	167	△ 9	△ 5.2%	168	△ 8	△ 4.5%
EMEA地域	194	+ 2	+ 1.3%	187	△ 5	△ 2.6%
海外事業 計	2,087	△ 72	△ 3.3%	2,124	△ 35	△ 1.6%
連結 計	5,866	+ 43	+ 0.7%	5,903	+ 80	+ 1.4%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づく

* 「国内その他」には新規事業も含む

セグメント別 コア営業利益実績

単位：億円	2025年度 Q3累計 決算開示ベース					2025年度 Q3累計 為替一定ベース		
	営業利益	その他 収支	コア営業利益	前期比		コア営業利益	前期比	
				増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	278	△ 1	279	△ 10	△ 3.5%	279	△ 10	△ 3.5%
明星食品	33	1	32	+ 5	+ 16.6%	32	+ 5	+ 16.6%
国内即席めん事業	312	△ 0	312	△ 6	△ 1.7%	312	△ 6	△ 1.7%
低温・飲料事業	71	△ 1	72	△ 1	△ 2.0%	72	△ 1	△ 2.0%
菓子事業	46	△ 3	48	△ 5	△ 9.9%	48	△ 5	△ 9.9%
国内非即席めん事業	117	△ 3	120	△ 7	△ 5.3%	120	△ 7	△ 5.3%
国内その他	7	△ 0	7	△ 9	△ 56.8%	7	△ 9	△ 56.8%
国内事業 計	435	△ 3	439	△ 21	△ 4.6%	439	△ 21	△ 4.6%
米州地域	83	1	83	△ 40	△ 32.4%	85	△ 38	△ 30.8%
中国地域	57	△ 0	57	+ 3	+ 6.5%	59	+ 5	+ 9.3%
アジア地域	53	0	53	△ 11	△ 16.9%	51	△ 12	△ 19.2%
EMEA地域	49	△ 2	51	△ 4	△ 7.7%	50	△ 5	△ 9.1%
海外事業 計	242	△ 1	243	△ 51	△ 17.4%	245	△ 50	△ 16.9%
国内・海外事業 計	678	△ 4	682	△ 72	△ 9.6%	683	△ 71	△ 9.4%
その他連結調整	△ 2	△ 1	△ 2	△ 0	-	△ 2	△ 0	-
グループ関連費用	△ 96	-	△ 96	△ 18	-	△ 96	△ 18	-
既存事業 計	579	△ 5	584	△ 91	△ 13.4%	585	△ 89	△ 13.3%
新規事業	△ 45	△ 0	△ 45	△ 3	-	△ 45	△ 3	-
連結 計	534	△ 5	539	△ 93	△ 14.8%	540	△ 92	△ 14.6%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づく

* 2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正

事業の状況

国内即席めん事業

- 2ブランド共に増収も、資材コストなどの上昇により日清食品減益。セグメント全体も減益

(億円)

FY25 売上収益	業績				前期比	Q3累計 増減要因
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計	
日清食品	529	601	706	1,836	+35 +2%	カップめん : 「あっさりおいしいカップヌードル」シリーズが好調に推移したことに加えて、2025年9月リニューアルした「カップヌードル BIG」なども売上に貢献 袋めん : 「チキンラーメン」、「出前一丁」、「日清焼そば」が堅調に推移
明星食品	116	115	131	363	+22 +6%	カップめん : 「一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズの好調に加えて、「ぶぶか油そば」が大きく伸長 袋めん : 「チャルメラ」シリーズが好調
国内即席めん事業	646	716	837	2,199	+57 +3%	

() 内はコア営業利益率

FY25 コア営業利益	業績				前期比	Q3累計 増減要因
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計	
日清食品	76 (14.3%)	90 (15.0%)	113 (16.0%)	279 (15.2%)	△10 △4%	+) 即席カップライス製品の価格改定効果及び売上増加による利益増 △) 資材価格及び物流費の上昇 等
明星食品	13 (11.1%)	5 (4.5%)	14 (10.9%)	32 (8.9%)	+5 +17%	+) 売上増加による利益増 △) 資材価格及び物流費の上昇 等
国内即席めん事業	89 (13.8%)	95 (13.3%)	127 (15.2%)	312 (14.2%)	△6 △2%	

国内非即席めん事業

- ・ パスタ・ラーメンが好調な日清冷凍、シリアルが好調な日清シスコなどにより増収も、日清ヨークの数量減および資材価格等上昇の影響により、事業全体で減益

(億円)

FY25 売上収益	業績				前期比	Q3累計 増減要因		
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計			
低温・飲料事業	262	261	270	792	+25 +3%	チルド 冷凍 ヨーク	+4% +8% △7%	「麺の達人」「スープの達人」等のラーメン群好調に加え、CVS向け調理めんの販売も貢献 「冷凍 日清中華」「冷凍 日清スパ王喫茶店」シリーズが引き続き好調、2025年9月発売の「冷凍 今日ほこってり」「冷凍 今日ほ旨辛」の貢献や、価格改定効果もあり増収 CVSでの売上低調、「ピルクルミラクルケア」シリーズの数量減、秋の新製品「ピルクル免疫スタイル」「ピルクルエイジングライフ」の発売及び「十勝のむヨーグルト」のリニューアルも期待したほど寄与せず減収
菓子事業	237	235	249	721	+23 +3%	シスコ ぼんち 湖池屋	+5% △0% +3%	「ごろグラ」シリーズや「ココナッツサブレ」シリーズが好調、価格改定も増収に寄与 原料米など原材料価格高騰に伴う価格改定後の需要鈍化により数量減 リニューアルした「ピュアポテト」やマーケティング施策が奏功したコーンブランドが好調、増収に寄与
国内非即席めん事業	499	496	519	1,514	+48 +3%			

() 内はコア営業利益率

FY25 コア営業利益	業績				前期比	Q3累計 増減要因		
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計			
低温・飲料事業	27 (10.4%)	25 (9.6%)	20 (7.3%)	72 (9.1%)	△1 △2%	チルド 冷凍 ヨーク	増益 増益 減益	原価率上昇も売上増加により増益 原価率上昇も売上増加により増益 売上減少およびマーケティング費用増等により減益
菓子事業	16 (6.8%)	14 (5.8%)	19 (7.4%)	48 (6.7%)	△5 △10%	シスコ ぼんち 湖池屋	増益 減益 減益	原材料コスト増も売上増加等により増益 売上減少・原価率上昇等により減益 増収も馬鈴薯の品質低下による歩留まり悪化等のコスト増をカバーできず減益
国内非即席めん事業	43 (8.7%)	39 (7.8%)	38 (7.3%)	120 (7.9%)	△7 △5%			

2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正

米州地域

- Q3単体では、米国の販売数量減が一巡し、増収増益へ転換。ただし、上期の影響により、セグメント全体では減収減益で着地
- (億円)

FY25 売上収益	業績				前期比	Q3累計 増減要因
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計	
米州地域	334	410	446	1,190	△66 △5%	米国 △11% : 前年下期に発生した一部流通での販売数量減影響が一巡し、Q3単体では数量増へ転換も、拡販費増や上期の数量減が影響し、Q3累計で減収（為替影響 △16億円） メキシコ △3% : 数量減を価格改定でカバーし現地通貨ベースで増収も、為替影響により円貨ベースでは減収（為替影響 △5億円） ブラジル +4% : Q3単体では数量増も前期末の流通在庫増の影響でQ3累計で数量減。価格改定効果もあり増収（為替影響 △10億円）

() 内はコア営業利益率

FY25 コア営業利益	業績				前期比	Q3累計 増減要因
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計	
米州地域	22 (6.7%)	23 (5.6%)	37 (8.3%)	83 (6.9%)	△40 △32%	米国 減益 : 数量減、拡販費増に伴い減益(為替影響 △1億円) メキシコ 減益 : 数量減および原材料コスト増の影響により減益(為替影響 △0億円) ブラジル 増益 : 資材価格上昇も価格改定効果により増益 (為替影響 △1億円)

国別の現地通貨ベース売上収益・数量の前年比

YoY	Q1		Q2		Q3		Q3 累計	
	売上収益 (現地通貨ベース)	数量	売上収益 (現地通貨ベース)	数量	売上収益 (現地通貨ベース)	数量	売上収益 (現地通貨ベース)	数量
米国	△24%	△20%台	△8%	△1桁前半%	+5%	+1桁後半%	△9%	△1桁半ば%
メキシコ	+13%	+1桁前半%	△6%	△1桁後半%	△5%	△1桁後半%	+1%	△1桁半ば%
ブラジル	+4%	△1桁半ば%	+8%	横ばい圏	+5%	+1桁前半%	+6%	横ばい圏

2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正

- 米国の売上収益の増減は、米国日清、明星USAの合計
- 米国のコア営業利益の増減は、米国日清、明星USA、RHQ Americasの合計
- 数量は管理ベースで記載

中国地域

大陸中心に主力即席めんの販売増、セグメント全体で増収増益

(億円)

FY25 売上収益	業績				前期比	Q3累計 増減要因
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計	
中国地域	167	192	177	535	+0 +0%	香港 他 : 増収 香港域内での主力袋めんの販売数量は回復傾向 その他周辺国のインオーガニック売上増による貢献 (為替影響 △6億円) 大陸 : 減収 主力即席めんの販売数量増、内陸部への販路も拡大しカバー率上昇 為替実勢では減収も、一定ベースでは増収 (為替影響 △8億円)

() 内はコア営業利益率

FY25 コア営業利益	業績				前期比	Q3累計 増減要因
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計	
中国地域	13 (7.6%)	25 (12.8%)	20 (11.2%)	57 (10.7%)	+3 +6%	香港 他 : 増益 コスト抑制およびその他地域のインオーガニック効果により増益 (為替影響 △0億円) 大陸 : 増益 販売数量増により増益 (為替影響 △1億円)

国別の現地通貨ベース売上収益・数量の前年比

YoY	売上収益 (現地通貨ベース)	数量*
香港他	+3%	△1桁前半%
大陸	+2%	+1桁前半%

* 数量は管理ベースで記載し、非即席めん事業を除く
 ** 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づくもの
 *** 香港他にはベトナム事業 等を含む
 2024年9月より「Gaemi Food」を連結子会社化し、韓国におけるスナック事業を開始
 2024年12月より「ABC Pastry」を連結子会社化し、オーストラリアにおける冷凍食品事業を開始
 2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正

アジア地域

- 各国で販売数量が減少したことにより、減収・減益。持分法適用会社においても減益

売上額が多い順 (億円)

FY25 売上収益	業績				前期比	Q3累計 増減要因	
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計		
アジア地域	51	57	59	167	△9 △5%	タイ	: 減収 (為替影響 +2.9億円)
						インド	: 減収 (為替影響 △3.6億円)
						シンガポール	: 減収 (為替影響 +0.2億円)
						インドネシア*	: 減収 (為替影響 △0.7億円)

() 内は持分法損益含まないコア営業利益率

FY25 コア営業利益	業績				前期比	Q3累計 増減要因	
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計		
アジア地域	17 (6.5%)	18 (8.2%)	17 (9.6%)	53 (8.2%)	△11 △17%	タイ	: 減益 (為替影響 +0.5億円)
						インド	: 増益 (為替影響 △0.1億円)
						シンガポール	: 減益 (為替影響 +0.0億円)
						インドネシア*	: 減益 (為替影響 +0.0億円)
						持分法適用会社	
						タイプレ	: 25億円 YoY △3億円、(為替影響 +1.3億円)
						NURC	: 14億円 YoY △2億円、(為替影響 △0.3億円)

* マレーシア事業含む

2025年度よりHDの本部費用の配賦基準と海外ロイヤリティ料率を変更したため前期の数字も遡及修正

EMEA地域

- 為替影響により増収だが、イギリス・ドイツ・フランスなど主要国における販売数量減により、現地通貨ベースで減収減益

(億円)

FY25 売上収益	業績				前期比	Q3累計 増減要因
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計	
EMEA地域	55	68	71	194	+2 +1%	欧州日清 : 為替影響により増収も、販売数量減により現地通貨ベースで減収 (為替影響 +7億円)

() 内は持分法損益含まないコア営業利益率

FY25 コア営業利益	業績				前期比	Q3累計 増減要因
	Q1	Q2	Q3	Q3累計	Q3累計	
EMEA地域	17 (1.3%)	10 (2.1%)	23 (1.2%)	51 (1.5%)	△4 △8%	欧州日清 : 減益 (為替影響 △0億円)

持分法適用会社
 マルベン : 10億円 YoY △6億円 (為替影響 +0億円)
 プレミアフーズ : 38億円 YoY +8億円 (為替影響 +0億円)

* EMEA地域にはトルコ事業も含む
 2025年11月にNISSIN FOODS TURKEY GIDA ANONİM ŞİRKETİ (トルコ日清) を設立し、トルコにおける即席めん事業を開始

Appendix

2025年度通期 修正計画

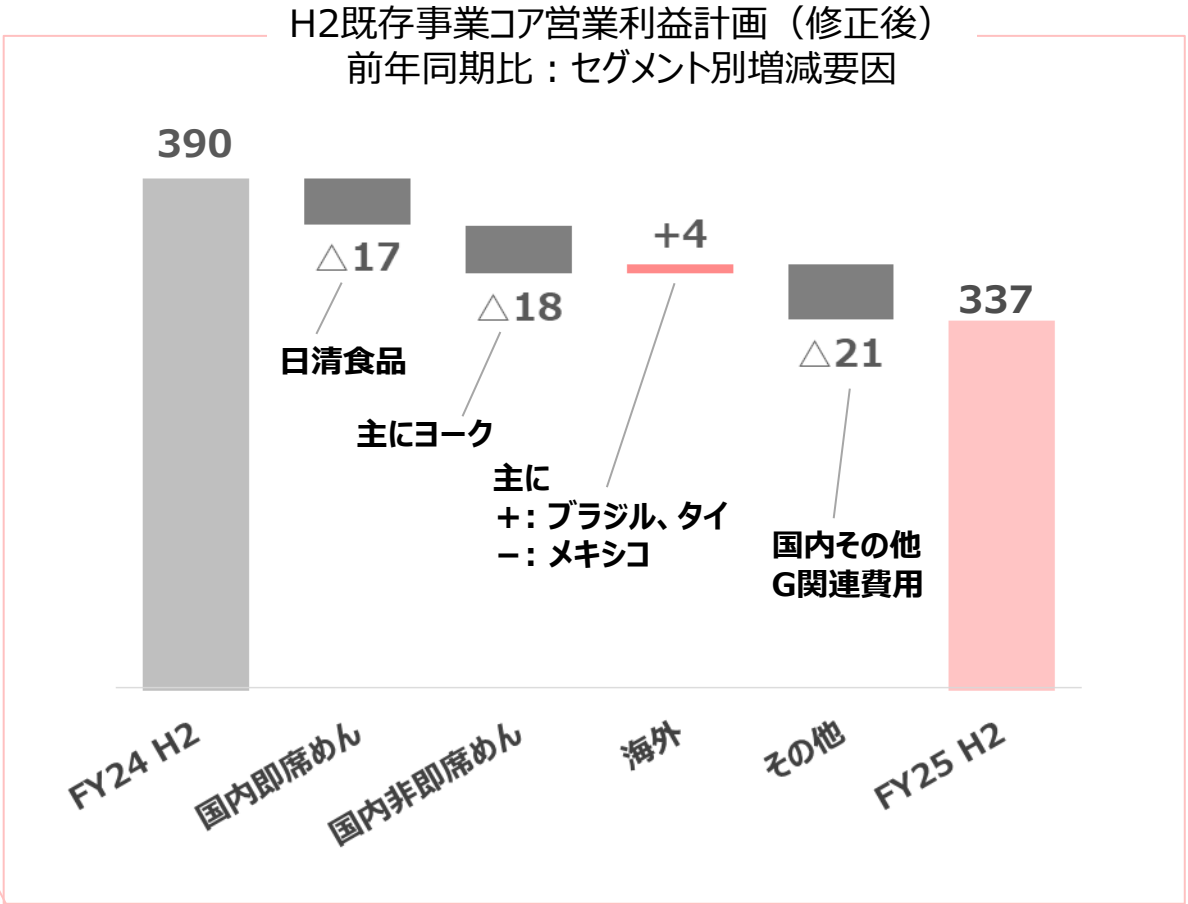
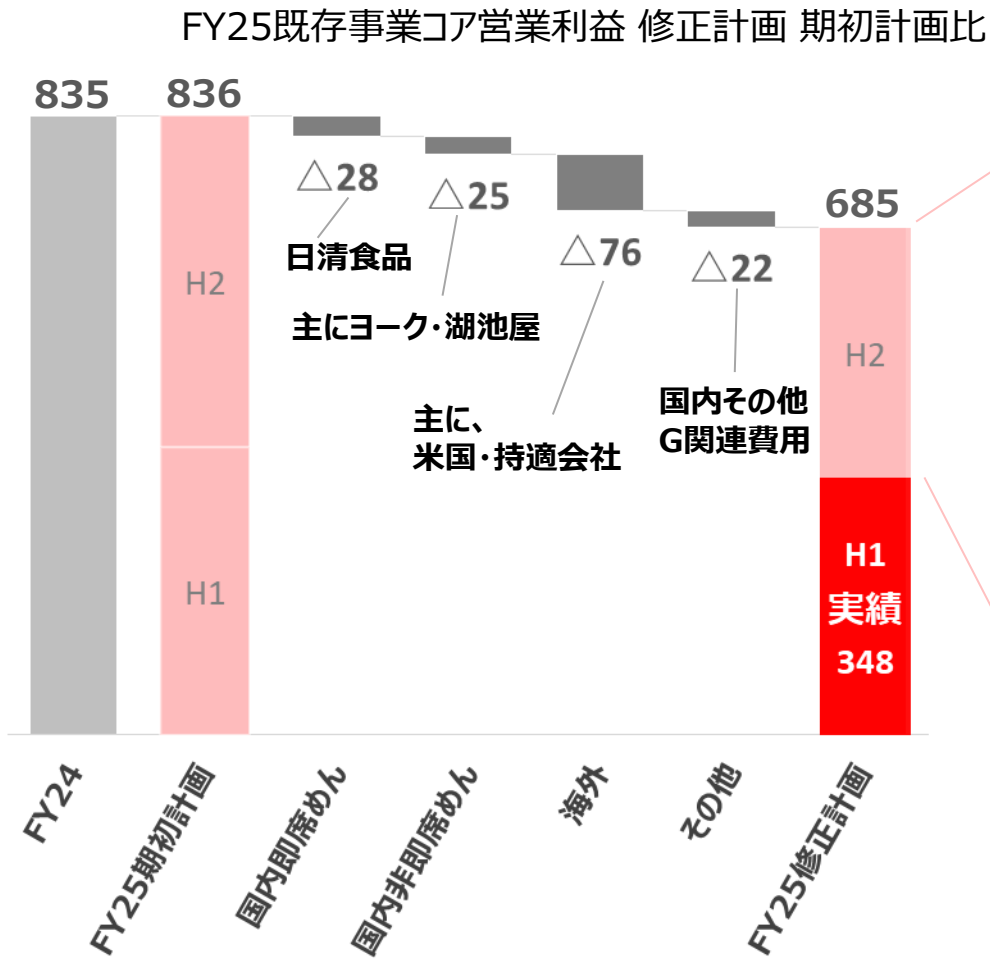
2025年度通期連結業績予想の修正

単位：億円	通期修正予想（2025年11月10日発表）				
	2025年度 予想	vs. 期初予想		vs. 前期	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	7,920	△ 180	△ 2.2%	+ 154	+ 2.0%
既存事業コア営業利益	685	△ 151	△ 18.1%	△ 150	△ 18.0%
営業利益	605	△ 191 ～ △ 151	△ 24.0% ～ △ 20.0%	△ 139	△ 18.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	430	△ 130 ～ △ 100	△ 23.2% ～ △ 18.9%	△ 120	△ 21.8%
既存事業コア営業利益率	8.6%	△ 1.7pt		△ 2.1pt	
営業利益率	7.6%	△ 2.2pt ～ △ 1.7pt		△ 1.9pt	
親会社の所有者に帰属する 当期利益率	5.4%	△ 1.5pt ～ △ 1.1pt		△ 1.7pt	

セグメント別 2025年度通期連結業績予想の修正

単位：億円	通期修正予想（2025年11月10日発表）				
	2025年度 予想	vs. 期初予想		vs. 前期	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	7,920	△ 180	△ 2.2%	+ 154	+ 2.0%
国内即席めん事業	2,920	△ 65	△ 2.2%	+ 78	+ 2.8%
国内非即席めん事業	1,970	△ 60	△ 3.0%	+ 32	+ 1.7%
海外事業	2,935	△ 55	△ 1.8%	+ 27	+ 0.9%
その他	95	-	-	+ 17	+ 21.9%
既存事業コア営業利益	685	△ 151	△ 18.1%	△ 150	△ 18.0%
国内即席めん事業	347	△ 28	△ 7.5%	△ 23	△ 6.2%
国内非即席めん事業	121	△ 25	△ 17.1%	△ 23	△ 15.7%
海外事業	351	△ 76	△ 17.8%	△ 60	△ 14.7%
その他	△ 134	△ 22	-	△ 45	-

2025年度通期連結業績予想修正の背景



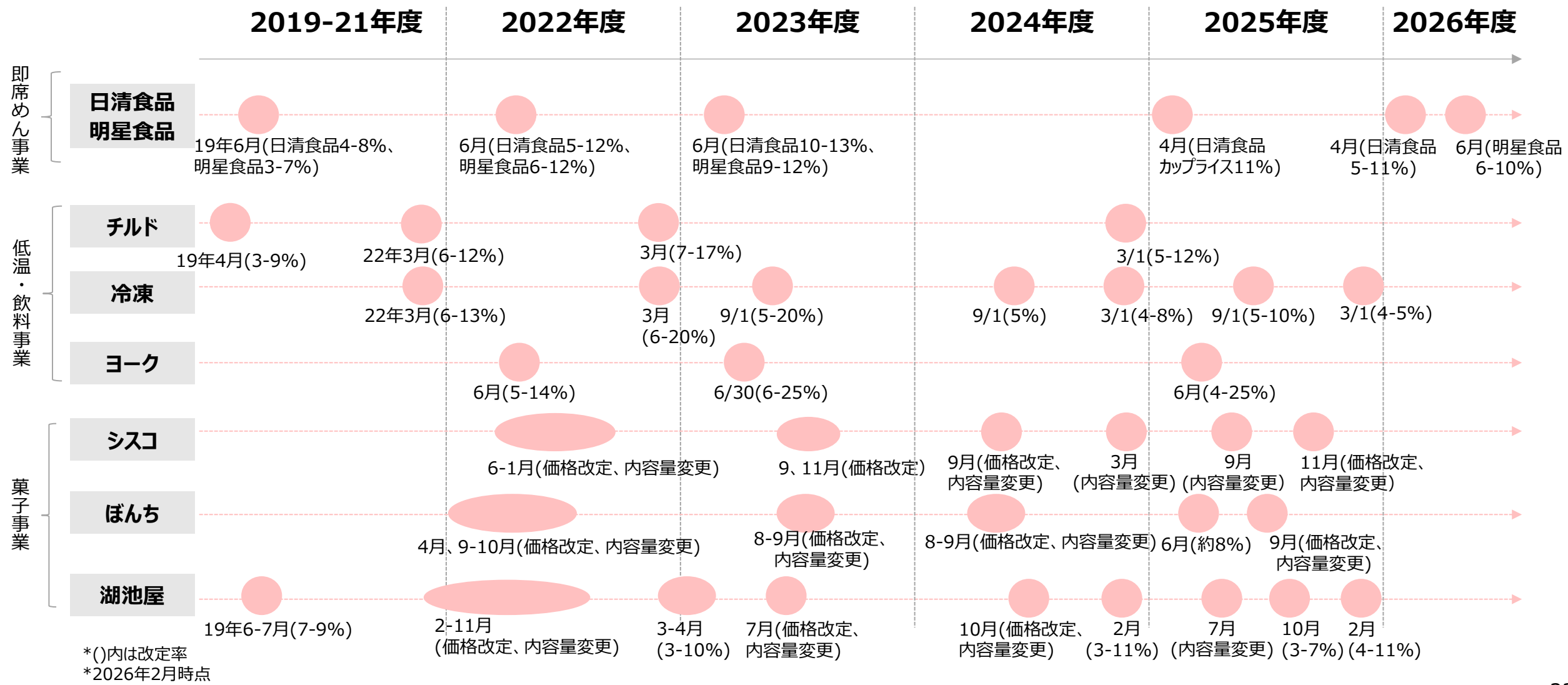
米州地域および海外地域全体の売上収益・数量 前期比

ベース：△1桁後半%
プレミアム：前年並み

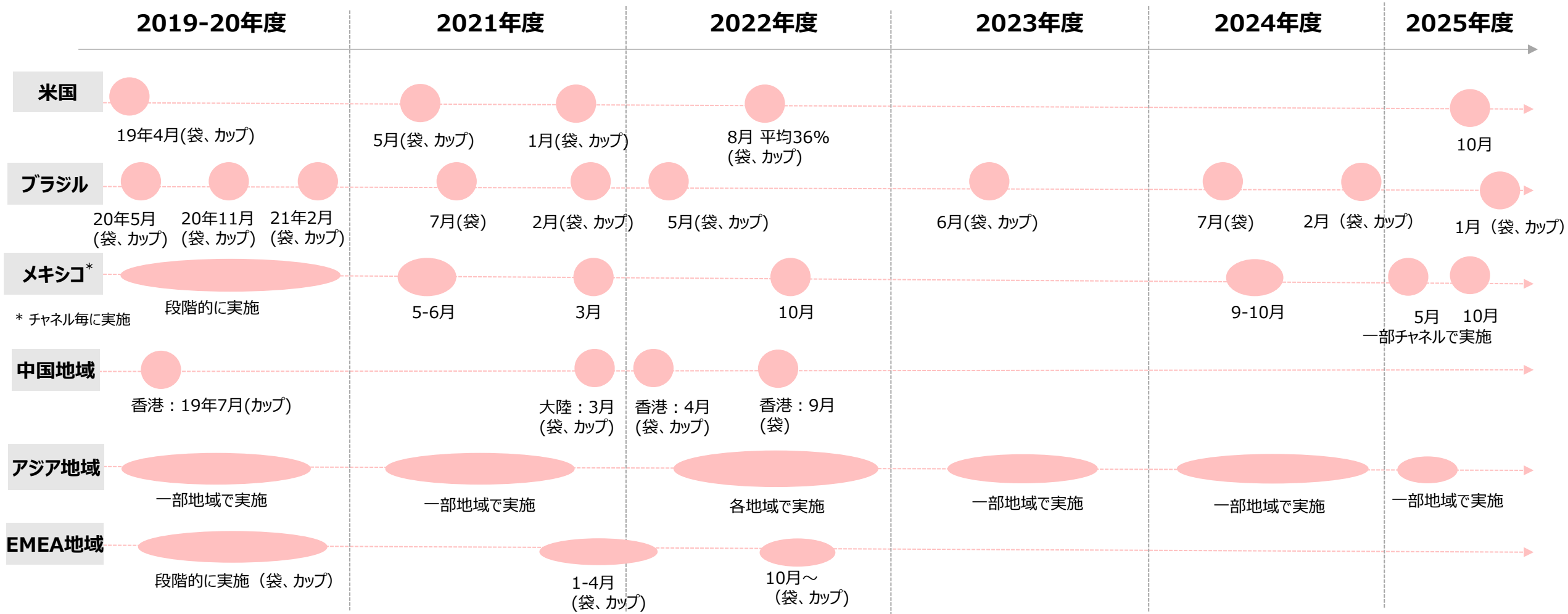
2024年度					2025年度							
YoY	Q3(10-12月)		Q4(1-3月)		Q1(4-6月)		Q2（7-9月）		Q3(10-12月)		2025年度 通期 修正計画	
	売上収益 現地通貨 ベース	数量	売上収益 現地通貨 ベース	数量	売上収益 現地通貨 ベース	数量	売上収益 現地通貨 ベース	数量	売上収益 現地通貨 ベース	数量	売上収益 現地通貨 ベース	数量
米国	△8%	△1桁後半%	△4%	△1桁半ば%	△24%	△20%台	△8%	△1桁前半%	+ 5%	+ 1桁後半%	△1桁後半%	△ 1 桁後半%
メキシコ	△2%	△10%台	+7%	+ 1桁前半%	+ 13%	+ 1桁前半%	△6%	△1桁後半%	△5%	△1桁後半%	+ 1桁前半%	△ 1 桁半ば%
ブラジル	+ 18%	+ 10%台	+ 38%	+ 30%台	+ 4%	△1桁半ば%	+ 8%	横ばい圏	+ 5%	+ 1桁前半%	+ 10%台	+ 1桁前半%
海外全体	+ 4%	+ 1桁前半%	+ 9 %	+ 1桁後半%	△5%	△1桁後半%	△1%	△1桁前半%	+1%	+ 1 桁前半%	+ 2%	前年超え

- * 数量は管理ベースで記載
- * 米国の売上収益の増減は、米国日清、明星USAの合計

主な価格改定推移（国内）



主な価格改定推移（海外）



*2026年2月時点

本資料に掲載しております当社グループの計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場的大幅な変動」他、様々なリスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきください。

また、本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさっていただきますようお願い申し上げます。

- このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ウェブサイト「決算短信・補足資料・決算説明会関連資料」に掲載しています
<https://www.nissin.com/jp/ir/library/>
- この資料の金額は、千円単位で算出し、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が一致しない場合があります
- 当該資料の決算期は原則として、20YY年4月1日からの1年間を「20YY年度」または「YY年度」とします
- 中国地域の実績は、日清食品ホールディングス連結の方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります。また、中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績予想は日清食品ホールディングスが独自に設定したものです



日清食品ホールディングス株式会社